

「情報公開文書」

課題名：

神経内分泌腫瘍患者における腫瘍細胞-免疫相互作用に注目した腫瘍組織微小環境の研究

1. 研究の対象

2001年1月～2018年12月の期間において、東北労災病院で肝臓、胆嚢、膵臓、消化管、肺の手術を受け(外科的、内視鏡的切除を含む)、神経内分泌系への分化を示す腫瘍と診断された方。

2. 研究期間

2019年2月～2023年3月

3. 研究目的

腫瘍細胞が神経内分泌系への分化を伴うことで、腫瘍微小環境がどのように変化するか検討する。

4. 研究方法

神経内分泌腫瘍とその他の腫瘍の混在症例、もしくは部分的に神経内分泌系への分化を伴う腫瘍症例においてCD3, CD4, CD8, Treg, PD-L1, PD-1, vasohibin, CD31、およびmTOR関連因子等に関して免疫組織化学的検討を行い、神経内分泌系への分化を伴うことで腫瘍微小環境がどのように変化するか検討する。その際、腫瘍細胞、浸潤する炎症細胞、間質細胞における発現を比較検討する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 東北労災病院において切除術が行なわれた症例の病理組織検体。

情報: 年齢、性別、発生部位、組織型、病理学的 T 因子、病理学的 N 因子、臨床的 M 因子、転帰等

6. 外部への試料・情報の提供

東北大学病院病理部

7. 研究組織

東北大学病院

共同研究機関

東北労災病院
仙台厚生病院
宮城県立がんセンター
宮城県南中核病院
石巻赤十字病院
仙台医療センター
大崎市民病院
仙台オープン病院

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
研究責任者：岩間 憲行